

03月度 例会 個人 山行報告書		報告者	町田 修	参加 メンバー	L:町田 修 ゲスト:佐藤 定美
		報告日	2026.3.4		
山城	薩摩大隅半島の山	山行日	26年03月2日(月)		
山名	大籠柄岳 1237m				
山行目的	三百名山を登る&親睦登山	コースタイム (天候: 天気図記号)			

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局



天気: 雨
8:30 垂水港着
友人と合流
9:10 垂登登山口着
9:30 々 発
10:30 三合目着
11:30 杖捨祠着
12:00 山頂着
12:15 々 発
13:30 三合目着
14:20 登山口着
15:20 財宝温泉
「宝箱」着

〈山行報告〉なぜ今、薩摩大隅半島の「大籠柄岳/おおのがらだけ」へ・・・?! 少し説明すると、母校薩南工高の古希祝同窓会が3/1(日)あり、このためにだけで帰郷するのも、もったいないと考えた。現役が三百名山にチャレンジしている事から、未踏の鹿児島の山を見ると「大籠柄岳」がヒットした。一人登山も面白くないので友人(都城市在住/デンソーOB)を誘い、ヨシ!ここは一つ、OBが落としてやろうと、計画立案した。

3/2(月)フェリーで鴨池港から垂水港に向かう。船の中から見る桜島は雨で、厚い雲に覆われている。港で合流した友人は「えっ!登るんですか?」と、怪訝な顔での再会だった。私の意思は固く、雨が降ろうが槍が降ろうが登るつもりだったので、即登山口へ向かう。カッパを着て出発準備中、一台の佐賀 No の車が来たが、雨天判断であきらめてよだ。

登山道は登につれて急登になり、足場がぬかるんでズルズル状態。設置ロープや木の枝を掴みながら、這い上がること2時間、やっと稜線に出る。そこからは、たんたらたんで山頂に着く。そこは開けていて、天気が良いれば眼下に錦江湾が広がり、桜島の雄姿を望めるはずだったが・・・視界ゼロ! 三百名山の記念写真を撮り、早々に下山する。登山靴とカッパのズボンは泥で汚れ、ほうほうの体で登山口に着いた。

しかし、下山後は麓の財宝温泉「宝箱」が待っている。この計画の良さ!
温泉と焼酎と特産の「カンパチ」で登頂と再会を祝った。
もう一つの目的は、昨年怪我したの膝の回復状態を確認したかった。
往復5時間のややキツメノ登山に耐えられた。これでヨシ!!



確認
(リーダー)
町
26/03/04
田
作成
(報告者)

